

＜研究課題名＞	E-1106	アジア地域を含む低炭素型サプライチェーンの構築と制度化に関する研究		
<p>＜研究概要＞</p> <p>低炭素社会を実現するためのこれまでの研究や政策の対象は企業や製品および技術が中心で、複数の企業間につながる製造プロセスのサプライチェーンを対象とする低炭素化のための活動や政策は特にアジア地域ではこれまで十分に展開されておらず、ここに大きな問題が存在している。</p> <p>本研究は、サプライチェーンを低炭素化するために必要なサプライチェーンの環境負荷の測定・評価技術を開発して、低炭素型サプライチェーンをアジア諸国を含む地域で制度化するための方法を研究する。</p> <p>本研究で開発される技術を活用して、日本およびアジア地域でのものづくりの低炭素化を促進し、温室効果ガス排出量および環境負荷の低減に貢献することを目的とする。</p>				
＜研究代表者＞	國部 克彦	神戸大学大学院経営学研究科教授		
No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	アジア諸国のインベントリデータベースと環境負荷量測定手法の開発	○	伊坪 徳宏 野田 昭宏 山田 哲男	東京都市大学・環境情報学部・准教授 東京都市大学・環境情報学部・講師 電気通信大学・大学院情報理工学研究科・准教授
(2)	低炭素型サプライチェーン評価システムの開発	○	中寫 道靖 木村 麻子 岡 照二	関西大学・商学部・教授 関西大学・商学部・准教授 関西大学・商学部・助教
(3)	低炭素型サプライチェーンの制度化とアジア地域を含めた普及方策の研究	◎	國部 克彦 梶原 武久 蔵本 一也 島田 智明	神戸大学大学院・経営学研究科・教授 神戸大学大学院・経営学研究科・准教授 神戸大学大学院・経営学研究科・准教授 神戸大学大学院・経営学研究科・准教授

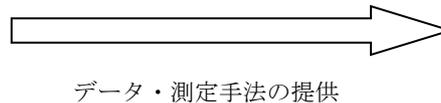
# E-1106 アジア地域を含む低炭素型サプライチェーンの構築と制度化に関する研究

サブテーマ1  
東京都市大学・電気通信大学

サブテーマ2  
関西大学

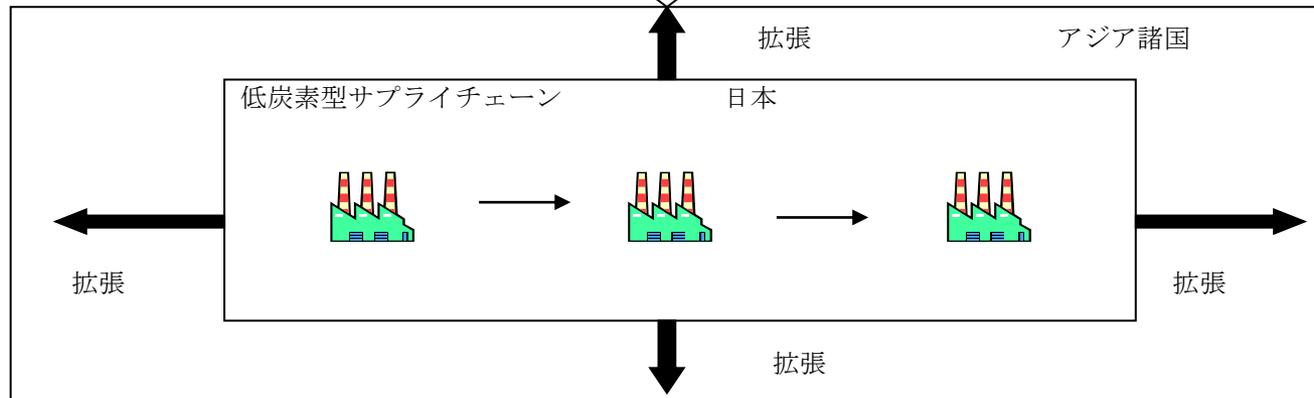
「アジア諸国のインベントリデータベースと環境負荷測定手法の開発」  
・インベントリデータベース  
・会計データに基づく環境負荷測定手法

「低炭素型サプライチェーン評価システムの開発」  
・サプライチェーンに適用可能な MFCAシステム  
・MFCAとCO<sub>2</sub>情報の統合システム



インベントリデータベースと環境負荷測定手法の活用

低炭素型サプライチェーン評価システムの導入



サブテーマ3  
神戸大学

制度化・普及のための支援  
(企業・消費者・行政の視点)

「低炭素型サプライチェーンの制度化とアジア地域を含めた普及方策の研究」  
・経営管理システムの改善  
・情報共有  
・開示手法の検討  
・消費者への啓発と支援  
・行政による政策支援

- 環境政策等への貢献 (アウトカム)
1. 「市場において環境の価値が積極的に評価される仕組みづくり」への貢献
  2. 「東アジアにおける地球環境及び地域環境の改善に係るネットワークの構築」への貢献
  3. 低炭素化社会作りのための「見える化」技術の一層の発展への貢献
  4. 2020年までの温室効果ガス排出量25%削減 (中期目標) への貢献
  5. ISO14000シリーズの発展への貢献
  6. 他の環境研究へのデータおよび手法の提供